

平成 21 年度事業報告書

□概要

平成 21 年度入学者の減少に伴い、一時金・経費縮減に伴う緊縮財政の中、

- ・人事考課制度導入、変形労働時間制導入、就業規則の改訂を通じメリハリある労働環境を整備した。
- ・校務面では、生徒指導、学力向上、入試広報に継続的かつ重点的に精力傾注の結果着実なる進捗をみた。

□法人

①寄附行為・学則変更

- ・情報ビジネス科を廃止し、学則定員を(1800名→)1080名に変更

②役員人事

- ・新理事長:延原観司、新理事長代理:臼谷華子 就任(4月1日付)
- ・理事:田上元章 退任(12月31日付)

③規程制定・改訂

- ・(人事考課制度導入に伴い)給与規程等改訂
- ・常勤講師規程・常勤講師給与規程制定
- ・個人情報保護規程、資産運用規程制定

④勤務体系

- ・人事考課制度導入に伴い年間人材育成・評価を実施(年齢給及び能力(資格)給に反映)
- ・1年単位の変形労働時間制導入
- ・36協定締結(特進クラス授業対応に限定)

⑤施設整備

- ・第2情報教室整備(国庫補助事業:コンピュータ42台、サーバ2台入替)
- ・グラウンド天然芝生化

□高等学校

①生徒数

- ・H20年度卒業生:208名
- ・H21年度入学生: **245名**
- ・H21年度期首在校生: **756名**
- ・H21年度卒業生: **230名**
- ・H22年度入学生:297名
- ・H22年度期首在校生:794名

②入試広報

- ・見学会早期化、近隣校強化、夏季コース体験、運動部奨励生枠拡大に取り組む
- ・併願戻り率拡大も貢献し、平成22年度入学生:297名(対前年52名増)確保

③生徒指導

- ・登下校時指導、身だしなみ指導、問題防止と早期解決のためのイエローカード制等の体系的取り組みにより、しつけマナーの向上と退学率減少
- ・外部アルカイクホールでの文化祭、天然芝グラウンドでの地域ぐるみキックベースボール大会、200回を超える校外ボランティア清掃実施等で、生徒資質と外部評価向上

④教務・学力向上

- ・河合塾連携特進コース(1、2年)の偏差値着実UP、22年度中堅国公立大合格を目指す
- ・学力向上委員会新設、一般生に対するチュートリアルシステム、放課後自習室・演習室の活用、ベネッセ進路マップによるPDCAサイクル等で学力向上と進学者増
- ・教職員による学校評価を通じた教育内容向上と、資質向上